

我が社における自主保安活動シリーズ

(第5回)

高圧ガス保安全国大会で会長表彰を受賞された組織（優良製造所および優良販売業者）は、長年にわたる保安啓発と自主的な保安活動への取組みを積極的に行っております。

そこで、受賞を契機に高圧ガス災害の撲滅など自主保安の維持向上に努めている活動等を執筆していただきました。

高圧ガスの製造所及び販売事業所で保安に関わる方々には大いに参考になるものと期待しています。2019年1月号（Vol. 56 No. 1）から連載を開始し、本号では、優良製造所として、株式会社ネリキ 品質保証部品質保証課 新戸裕様、優良販売業者として、株式会社西條プロパン 辻田隆様に自社の保安に対する考え方および今後の抱負などについてご紹介いただきました。

我が社における自主保安活動シリーズの掲載号

- 第1回 我が社の保安安全活動（優良製造所編）（株）サイサンガステクノ 横山義巳 Vol.56 No.1
- 第1回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編）（株）サンワ 田部井普 Vol.56 No.1
- 第2回 我が社における保安管理活動（優良製造所編）上毛天然瓦斯工業(株) 平石 誠 Vol.56 No.2
- 第2回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編）紀伊国屋高圧(株) 若林比呂之 Vol.56 No.2
- 第3回 保安レベルの維持向上への取組みについて（優良製造所編）（株）クレハ 小野佐市 Vol.56 No.3
- 第3回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編）（株）須山液化ガス 須山光男 Vol.56 No.3
- 第4回 我が社における保安管理活動（優良製造所編）雪印メグミルク(株) 田中秀和 Vol.56 No.4
- 第4回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編）十文字ガス(株) 小関史郎 Vol.56 No.4

我が社における保安全管理活動 (優良製造所編)



株式会社ネリキ 品質保証部品質保証課 課長代理

新戸 裕之

1 はじめに

1930年の創業以来、ネリキは高圧ガス容器用バルブの専門メーカーとして、お客様の「満足」を実現するために、技術革新と顧客サービスの追求にひたすら取り組んできた。不可能と思われることであっても、必ず納得いただける結果を出す—モノづくりにかける不屈の精神は、国境を越えて世界が認める品質へと飛躍を遂げつつある。かたくななまでにバルブ開発にかかる事業姿勢は、海と世紀をまたぎ幅広い産業分野から高い評価を獲得している。「BBB NERIKI ブランド」は、これからも不断のイノベーションに挑戦し続けていく。

2 表彰履歴

高圧ガス保安協会会長表彰 優良製造所

2015年10月23日, 他

3 会社沿革

1930年9月 創業者練木文吾が大阪市西区江戸堀に個人商店ネリキ商会を設立し、吸入酸素及び高圧ガス容器用バルブの販売を行う

1932年4月 吸入酸素販売を休止し、バルブの製造販売を専門とする

1942年4月 大阪市都島区に移転する

1952年2月 組織を法人に改め、出資金100万円の有限会社ネリキ商会とする

1962年8月 有限会社ネリキ商会を株式会社ネリキ商会に組織変更する

1963年11月 各種高圧ガス及び同容器並びに、それに関する諸機器類等高圧ガス関連商品全般の販売を行う

1964年1月 生産高、商高の拡大に伴い、本社を尼崎市現所在地に移転する

1970年5月 我が国初の高圧ガス容器弁(JISB8246)に関する日本工業規格表示許可工場となる

1971年6月 練木文吾が日本高圧ガス容器バルブ工業会会長に就任する

1971年12月 社名を株式会社ネリキに変更する

1972年3月 東京営業所を開設する

1974年3月 練木文吾が代表取締役会長に就任し、大長則雄が代表取締役社長となる

1975年5月 練木文吾が永年の業界への貢献を認められ、勲5等瑞宝章を叙勲する

1980年4月 塚口工場を開設する

1981年12月 通商産業大臣高圧ガス種別大臣認定事業所となる



写真 (株)ネリキ神戸工場

1991年6月 神戸工場を開設，同年，塚口工場を閉鎖する

1994年7月 品質マネジメントシステム ISO9001 認証を取得する

1995年10月 アイルランドに現地法人 NERIKI EUROPE LTD. を設立する

2000年8月 医療機器製造業許可を取得する

2005年3月 医療機器-品質マネジメントシステム ISO13485 認証を取得する

2005年4月 第二種医療機器製造販売業許可を取得する

2006年5月 環境マネジメントシステム ISO14001 認証を取得する

4 保安に対する考え方

当社では数年前から

- 1 番に，安全（お客様の安全を含む。）
- 2 番に，品質（悪いものは作らない。）
- 3 番に，品質（悪いものを作ってしまった後も後工程に送らない。）
- 4 番に，品質（悪いものが後工程へ送られてしまったらすぐに捕まえる。）

5 番に，生産性（コスト）・納期と社長方針を掲げ活動している。

この考え方より，何を置いても安全でなければならないという考えを従業員に意識を持たせている。

5 保安活動

危害予防規程の教育，保安技術教育，外部講習への参加など多岐にわたる教育を行っている。また，教育の中では過去の高圧ガスの事故事例を資料や映像を見せるなどの工夫をしている。

また，ヒヤリハットについて日常のコミュニケーションにより報連相をしっかりと行う意識を常に持つようにしている。ヒヤリハットの報告については当該部署だけではなく，全社の共通認識として横展開を行うことで未然防止活動となっている。

6 おわりに（今後の抱負）

安全第一ということは皆理解できている。しかし，日常業務の中で本当に理解して行動できているかということと必ずしもできていないことがある。仕事の優先順位はその時の都合で無意識のうちに変わってしまう。無意識のうちに変わってしまわないようにするために，決められたルールを守り，繰り返し教育を行い正しく理解するということが大切である。

当社としてはこれらを愚直に繰り返し実施していくことで安全第一，高圧ガスの保安活動に役立てていく。

新栢裕之（しんはし ひろゆき）